

第1回 日高市公共施設再編・最適化の

検討に関する市民ワークショップ

「日高市における公共施設 の現状等について」



日高市総合政策部財政課

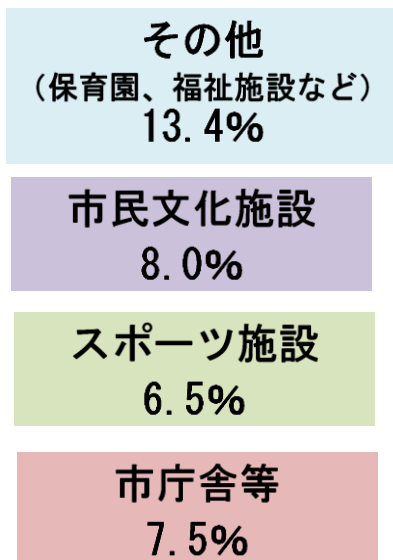
1. 日高市の公共施設を取り巻く現状と課題

■公共施設はどれだけあるの？

公共施設の約6割は小学校や中学校だよ！

<公共施設の割合>

総面積：約 128,000 m²



小学校や中学校などが
全体の約6割を占めているよ！

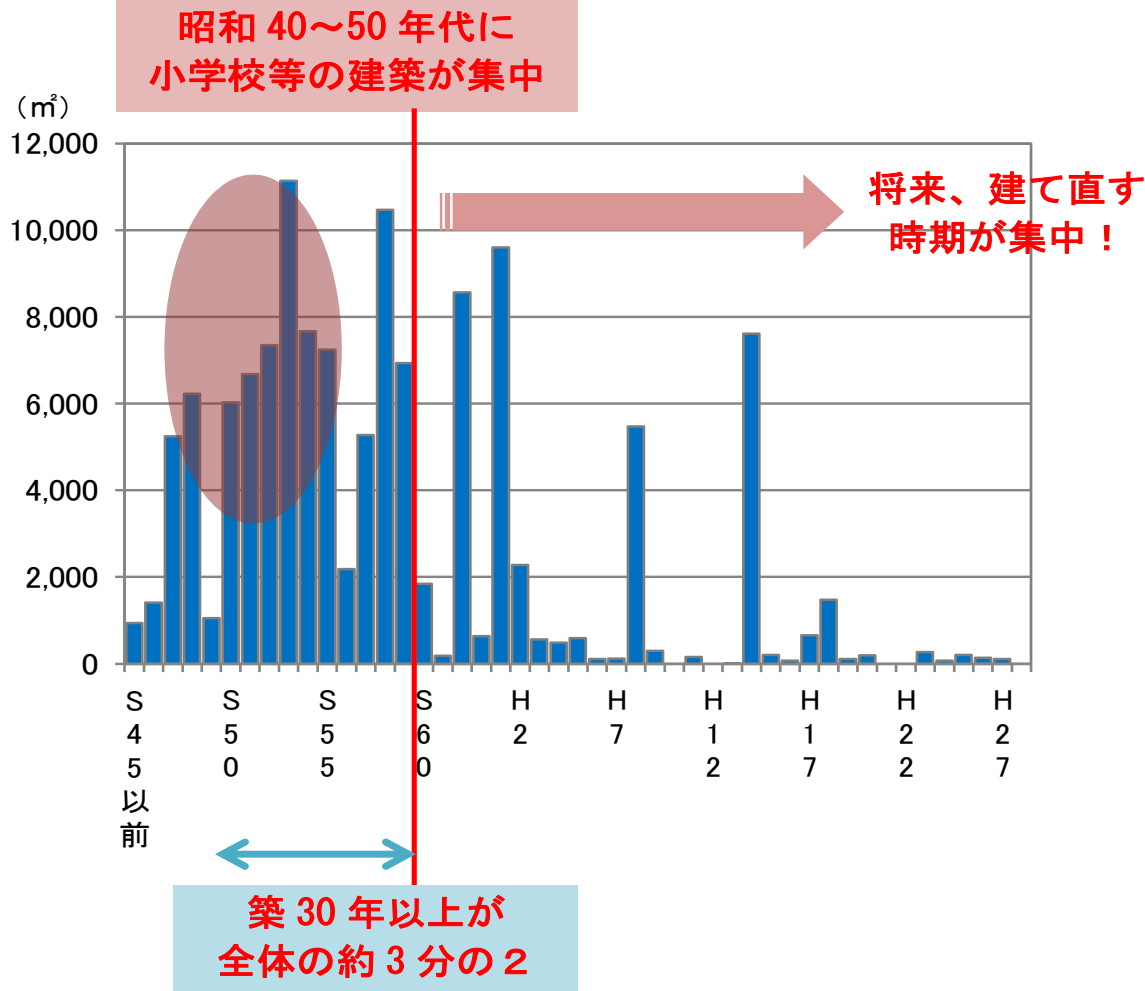
地区ごとに、小学校、中学校、
公民館が設置されているの
が日高市の特徴だよ！



■ 公共施設はどんな状況なの？

古くなって建て直す必要のある建物が、今後急激に増えるよ！

< 建築時期別延床面積 >



将来、建て直さなければ
ならない建物がいっぱい
ありそうだね。



悪くなったところを直し
たり、建て直さないと、
将来使えなくなるよ！

■将来の人口はどうなるの？

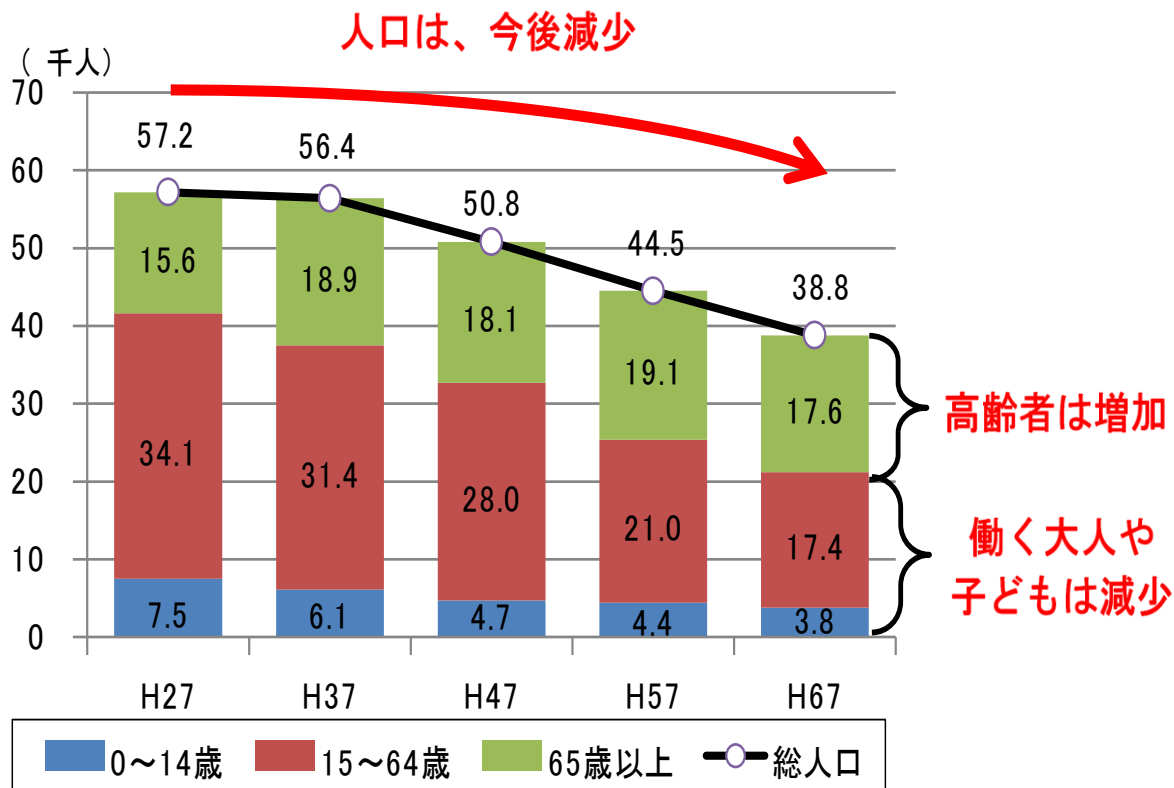
今後人口は減少していくことが予測されているよ！

増えていくお年寄りのための施設は足りているのかな？



子どもの施設はどうなるの？

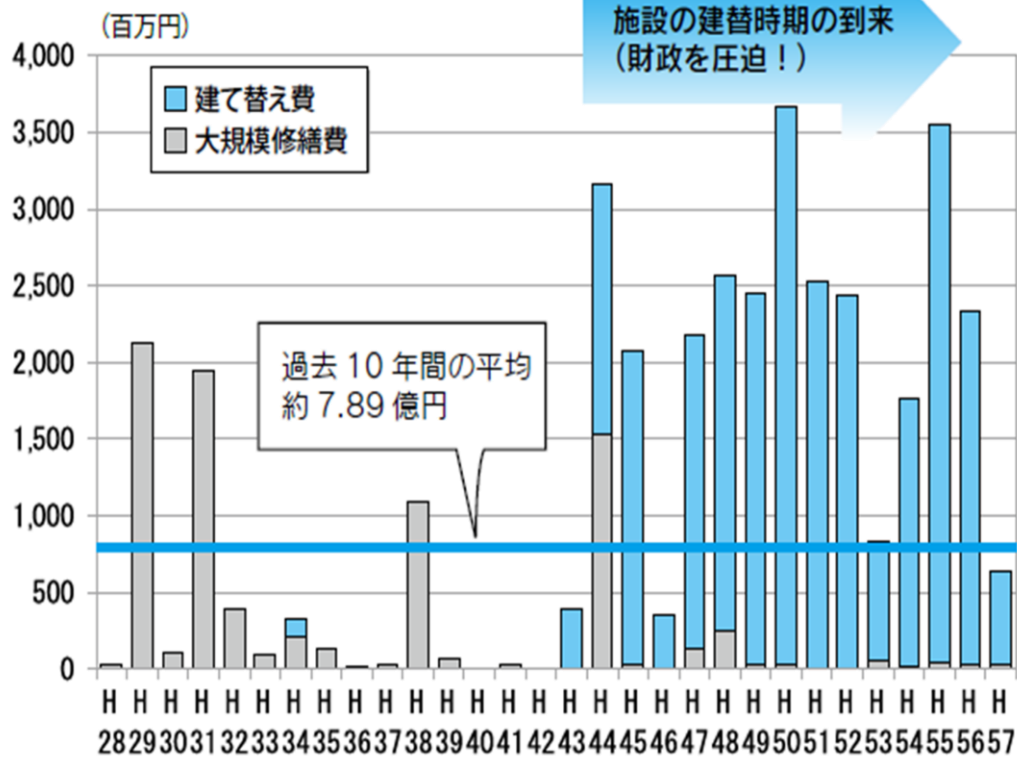
<市の将来人口推計>



■ 公共施設に必要なお金とは？

今と同じ量の公共施設を維持するには、今まで以上にお金が必要だよ！

< 今後の更新費・大規模修繕費* >



今の子どもたちが大人になるころに、たくさんのお金が必要になるね

今と同じ量の公共施設を維持するのは難しい



適切な維持管理を行わないと、将来も使えなくなってしまう

※築 30 年後に大規模修繕、築 60 年後に現在と同規模で更新を行う場合の試算

2. これからの公共施設の考え方

■ これからの公共施設

● 効率的な維持補修を進めていくよ！

● 公共施設の最適化を進めていくよ！

公共施設の最適化とは、財源不足の解消を目指し、個別施設それぞれに必要とされる機能面を重視しながら進める取組です。

持続可能な市民サービスを実現するためには必要不可欠な取組だよ！



例えば

長寿命化	適切な修繕・改善を計画的に行うことにより、同じ施設を長く使い、施設の維持保全にかかるコストを縮減します。
整理・統合 (集約化・複合化・多機能化)	施設の利用実態を踏まえて、複数の施設を一つの施設にまとめ、機能やサービスを維持したまま施設の効率化を図ります。
その他	長寿命化や整理・統合以外にも、減築、売却、民間活力の導入など様々な取組を進めます。

■ どうやって進めるの？

市民のみなさんと情報を共有しながら進めていくよ！

公共施設は、市民の財産であり、市民ニーズに的確に対応したものでなければなりません。市民と行政と一緒に知恵を出し合いどうするかを考えていく必要があります。



平成 27 年度に開催された市民ワークショップでは、公共施設の在り方として、次の 5 つの視点が取りまとめられています。

視点 1 市民との情報共有	市民への分かりやすい情報提供に努め、市民との情報共有を活用し、市民と一緒に検討を進める。
視点 2 現状の改善	市民ニーズに的確に対応するよう、公共施設の機能の転換や再編に柔軟に取り組む。
視点 3 地域性の重視	3 地域 6 地区でのこれまでの整備を踏まえ、引き続き地域性を考慮する。
視点 4 民間との連携	市民サービスの向上を目指し、民間の活力を積極的に活用する。
視点 5 将来への対応	限られた財源を有効に活用し、市民ニーズに的確に対応できるよう、将来を見据え、論理的・客観的な視点から公共施設の最適化（集約化・複合化等）に取り組む。

日高市公共施設再編計画スケジュールについて

